

作成日：2025年10月26日

奄美・沖縄交流事業 研修レポート



大島高校 1年 岩木 蒼平

目次

- 01 研修に参加した理由
- 02 奄美研修
- 03 沖縄研修・一日目
- 04 沖縄研修・二日目
- 05 沖縄研修・三日目
- 06 学びのまとめ

研修に参加した理由

自然環境や生き物に興味があり、
「自然保護官になる」という夢のため。

僕は小さなころから自然や生き物が好きで、将来は自然にかかわる仕事をしたいと思っていました。

「自然保護官」という職業があることを知り、この仕事に就きたいと考えるようになりました。

そこで、今回の研修はその夢を達成するためにいい機会だと思い、参加しました。



奄美研修



7月19日、奄美・沖縄研修がスタートしました。まず向かったのは朝戸にある金作原。奄美の植生やそこに住む生き物の観察をしました。そこには様々な種類の植物や生き物がいて、雄大な自然の力を感じることができました。

次に、QuruGuruというアマミノクロウサギの保護や研究を行う施設に行きました。そこでは飼育されているクロウサギを見たり、その生態を学ぶことができました。

沖縄研修・一日目



奄美研修から4日後の7月23日、沖縄での研修が始まりました。
沖縄は気温などあまり奄美と変わりませんでした。街がとても大きく圧倒されました。

沖縄についた後は、『やんばる学びの森』に向かいました。そこは、360度すべてが森に囲われたとてもきれいな所でした。

夜はやんばるの森でナイトハイクをし、その森に住む様々な生き物を見たり声を聞いたりすることができました。

沖縄研修・二日目



沖縄研修の二日目、予定ではやんばる学びの森の付近でガイドウォークを体験する予定でしたが、雨の影響で中止になり、とても残念でした。

その後、やんばる学びの森から『安田くいなふれあい公園』に行きました。ここでは実際のヤンバルクイナを見ながら森の中での生態を学びました。

夜には沖縄から見える星の学習をしました。ここでも天気の影響で、実際に観察することはできませんでした。いつか沖縄の星空を体験しに行きたいです。

沖縄研修・三日目



国頭村にある辺士名高校に行きました。ここでは、生徒の皆さんと一緒に校内見学をしました。校内には、哺乳類や爬虫類など、たくさんの動物が飼育されていました。

辺士名高校の生徒の皆さんは、普段の高校生活から動植物との関係性が近く、責任をもって飼育に取り組んでいる姿が印象的でした。

辺士名高校を見学した後は、沖縄科学技術大学院大学（OIST）に行きました。ここでは、たくさんの国の方が集まり、様々な社会に役立つ研究をしていました。施設はとても大きく、驚きました。

学びのまとめ



今回の奄美・沖縄交流事業を通して、それぞれの自然や生態系について、希少性や細かな違いがあることを学びました。ですが学ぶにつれ、まだまだ知らないことが多く、より知識や経験を深めていきたいと感じました。

今回の学びを、今後の進路や将来の職業選択に役立てていきたいと思います。

Thank You